2027年3月期　第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月9日

上 場 会 社 名　丸大食品株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　2288　URL https://www.marudai.jp/
代　表　者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 佐藤　勇二
問合せ先責任者　(役職名) 取締役経理部長　(氏名) 森本　芳史　TEL 072-661-2518

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　2026年12月1日
決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	121,788	1.2	1,490	△64.6	1,723	△61.2	1,539	△51.8
2026年3月期中間期	120,290	1.4	4,210	46.1	4,442	41.3	3,194	△25.2

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　1,340百万円(△74.9%)　2026年3月期中間期　5,344百万円(　31.4%)

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	64.06	―
2026年3月期中間期	130.48	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期中間期	128,392	75,878	58.5	3,131.01
2026年3月期	124,641	76,971	61.1	3,134.17

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　75,053百万円　2026年3月期　76,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	―	―	70.00	70.00
2027年3月期	―	40.00			
2027年3月期(予想)			―	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	243,000	1.9	4,000	△46.7	4,400	△44.5	4,400	△55.0	183.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

② ①以外の会計方針の変更　：　無

③ 会計上の見積りの変更　：　無

④ 修正再表示　：　無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	26,505,581株	2026年3月期	26,505,581株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	2,534,492株	2026年3月期	2,218,252株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	24,025,859株	2026年3月期中間期	24,480,077株

（注）期末自己株式数及び期中平均株式数（中期間）の算定に当たり、控除する自己株式数には「役員向け株式交付信託」及び「雇用型執行役員等向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を含めております。
（2027年3月期中間期　168,200株、2026年3月期　128,000株、2026年3月期中間期　128,000株）

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況　(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
(1) 当中間期の経営成績の概況 …… 2
(2) 当中間期の財政状態の概況 …… 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
(1) 中間連結貸借対照表 …… 5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報） …… 10

１．経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢をめぐる地政学リスクの高まりや、自然災害、金融資本市場の変動による影響が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、中東情勢による影響に加え、原材料価格の高騰、人件費及び物流費などのコスト上昇分を販売価格に転嫁する動きが継続しております。また、生活必需品を中心とした物価上昇を背景に、消費者の節約志向の高まりが見られる一方で、多様化する消費者ニーズや市場環境の変化に応じた柔軟な対応が一層求められております。

このような状況下、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、企業活動を推進してまいりました。

当中間連結会計期間における売上高は前年同期比1.2%増の1,217億88百万円、営業利益は同64.6%減の14億90百万円、経常利益は同61.2%減の17億23百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は同51.8%減の15億39百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

【セグメント別業績】　（単位：百万円）

	売上高（注）			セグメント利益又は損失(△)		
	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減額（増減率）	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減額（増減率）
加工食品事業	81,604	81,590	△13（△0.0%）	3,818	1,736	△2,081（△54.5%）
食肉事業	38,623	40,143	1,520（3.9%）	382	△217	△599（-）
その他	62	53	△8（△14.0%）	9	△28	△38（-）
合計	120,290	121,788	1,497（1.2%）	4,210	1,490	△2,719（△64.6%）

（注）売上高には、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

【加工食品事業　売上高内訳】　（単位：百万円）

	売上高		
	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減額（増減率）
ハム・ソーセージ	37,664	36,725	△939（△2.5%）
調理加工食品	43,939	44,865	926（2.1%）

①　加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、「燻製屋」シリーズは、料理研究家・リュウジさんとのレシピコラボレーション企画の実施や、期間限定商品「リュウジ監修　燻製屋熟成ウインナー　旨み重なる濃厚味」を発売し、多様な食シーンでの喫食提案と認知度向上を図りました。しかしながら、物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まりや価格競争の激化により、ロースハムやウインナー等の主要カテゴリーにおいて販売数量が減少したことから、売上高が前年を下回りました。この結果、当部門の売上高は前年同期比2.5％の減収となりました。

調理加工食品部門では、健康志向を背景に「サラダチキン」が堅調に推移しました。また、「ビストロ倶楽部濃厚カレー」や業務用カレーは販売拡大に努め、「スンドゥブ」シリーズは継続的な販促活動が奏功したことから、販売数量が増加し売上高は前年を上回りました。さらに、デザート・飲料類は、販促活動による拡販やコンビニエンスストア向けデザートが伸長したほか、業務用ホイップ済みクリームの売上拡大に努めたことから好調に推移しました。この結果、当部門の売上高は前年同期比2.1％の増収となりました。

以上の結果、加工食品事業の売上高は前年同期比0.0％減の815億90百万円となりました。セグメント利益は、ハム・ソーセージ部門の減収や原材料価格などのコスト上昇に加え、価格改定の進捗が限定的であったことなどから、前年同期比54.5％減の17億36百万円となりました。

②　食肉事業

牛肉につきましては、販売数量は減少したものの、相場高騰により販売単価が上昇したことから、量販店向け販売の輸入牛肉の売上高が堅調に推移し、前年を上回りました。豚肉につきましては、国産豚肉の売上高は前年を下回りましたが、輸入豚肉はブランド豚肉の売上拡大に努めたことにより販売数量が増加したことから、豚肉全体の売上高は前年を上回りました。

以上の結果、食肉事業の売上高は前年同期比3.9％増の401億43百万円となりました。セグメント利益は、相場高騰による仕入コストの上昇を販売価格に十分転嫁できなかったことに加え、一部在庫について棚卸評価損を計上したことにより、２億17百万円の損失（前年同期は３億82百万円の利益）となりました。

③　その他事業

その他事業の売上高は前年同期比14.0％減の53百万円、セグメント利益は28百万円の損失（前年同期は９百万円の利益）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

〔連結財政状態〕

（単位：百万円）

	前連結会計年度末	当中間 連結会計期間末	増減額
総資産	124,641	128,392	3,750
負債	47,670	52,513	4,842
純資産	76,971	75,878	△1,092
自己資本比率	61.1%	58.5%	△2.6%

当中間連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が14億84百万円減少しましたが、商品及び製品が20億87百万円、原材料及び貯蔵品が13億46百万円、受取手形及び売掛金が11億12百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ37億50百万円増加し、1,283億92百万円となりました。

負債は、未払法人税等が23億10百万円減少しましたが、有利子負債が52億78百万円、支払手形及び買掛金が25億16百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ48億42百万円増加し、525億13百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益15億39百万円の計上がありましたが、剰余金の配当17億９百万円、自己株式の取得12億12百万円による減少などから、前連結会計年度末に比べ10億92百万円減少し、758億78百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から2.6%低下し、58.5%となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

（単位：百万円）

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,717	△1,306	△9,023
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,066	△2,851	1,215
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,427	2,673	6,101
現金及び現金同等物の増減額	222	△1,484	－
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,206	8,311	△894

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費や税金等調整前中間純利益の計上があったものの、法人税等の支払いや運転資金の増加などから、13億６百万円減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の売却による収入があったものの、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、28億51百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや自己株式の取得による支出がありましたが、有利子負債の増加などから、26億73百万円増加しました。

以上の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の中間期末残高は、前連結会計年度末から14億84百万円減少し、83億11百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、2026年５月14日に公表いたしました2027年３月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（1）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,796	8,311
受取手形及び売掛金	25,960	27,072
電子記録債権	－	13
商品及び製品	12,698	14,785
仕掛品	494	572
原材料及び貯蔵品	7,003	8,349
その他	1,022	1,497
貸倒引当金	△17	△16
流動資産合計	56,957	60,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	60,641	60,875
減価償却累計額	△46,653	△46,661
建物及び構築物（純額）	13,987	14,214
機械装置及び運搬具	71,480	72,022
減価償却累計額	△62,503	△63,073
機械装置及び運搬具（純額）	8,977	8,948
工具、器具及び備品	4,502	4,487
減価償却累計額	△3,224	△3,204
工具、器具及び備品（純額）	1,278	1,283
土地	15,515	15,506
リース資産	6,187	5,630
減価償却累計額	△3,677	△3,107
リース資産（純額）	2,510	2,522
建設仮勘定	493	291
有形固定資産合計	42,763	42,767
無形固定資産	643	901
投資その他の資産		
投資有価証券	15,793	15,673
関係会社株式	429	362
長期貸付金	16	14
退職給付に係る資産	5,187	5,309
繰延税金資産	324	314
その他	2,637	2,570
貸倒引当金	△111	△108
投資その他の資産合計	24,276	24,136
固定資産合計	67,683	67,804
資産合計	124,641	128,392

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,395	20,911
短期借入金	1,050	7,779
1年内返済予定の長期借入金	2,638	2,351
リース債務	711	692
未払金	5,799	5,202
未払法人税等	3,037	727
未払消費税等	414	241
賞与引当金	901	1,063
役員賞与引当金	56	－
その他	1,387	1,464
流動負債合計	34,392	40,434
固定負債		
長期借入金	4,893	3,855
リース債務	2,153	2,047
繰延税金負債	4,170	4,089
退職給付に係る負債	1,626	1,650
役員株式給付引当金	32	32
その他	402	404
固定負債合計	13,278	12,078
負債合計	47,670	52,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,073	22,087
利益剰余金	42,028	41,858
自己株式	△4,685	△5,419
株主資本合計	66,133	65,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,623	8,527
繰延ヘッジ損益	35	△0
為替換算調整勘定	142	134
退職給付に係る調整累計額	1,187	1,148
その他の包括利益累計額合計	9,987	9,810
非支配株主持分	850	825
純資産合計	76,971	75,878
負債純資産合計	124,641	128,392

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	120,290	121,788
売上原価	100,189	103,751
売上総利益	20,100	18,037
販売費及び一般管理費	15,890	16,546
営業利益	4,210	1,490
営業外収益		
受取利息	8	12
受取配当金	216	185
不動産賃貸料	77	75
その他	103	146
営業外収益合計	405	420
営業外費用		
支払利息	135	142
その他	38	44
営業外費用合計	173	187
経常利益	4,442	1,723
特別利益		
固定資産処分益	1	489
受取補償金	100	－
特別利益合計	101	489
特別損失		
固定資産処分損	118	115
減損損失	19	1
構造改革費用	38	－
特別損失合計	175	116
税金等調整前中間純利益	4,368	2,095
法人税、住民税及び事業税	1,100	571
法人税等調整額	52	7
法人税等合計	1,152	578
中間純利益	3,215	1,517
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失（△）	21	△21
親会社株主に帰属する中間純利益	3,194	1,539

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	3,215	1,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,090	△95
繰延ヘッジ損益	8	△35
退職給付に係る調整額	50	△38
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	△8
その他の包括利益合計	2,128	△176
中間包括利益	5,344	1,340
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	5,323	1,362
非支配株主に係る中間包括利益	21	△21

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	4,368	2,095
減価償却費	2,363	2,437
減損損失	19	1
構造改革費用	38	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△5	△3
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△101	△153
受取利息及び受取配当金	△224	△198
支払利息	135	142
固定資産処分損益（△は益）	117	△373
売上債権の増減額（△は増加）	△535	△1,124
棚卸資産の増減額（△は増加）	△30	△3,503
仕入債務の増減額（△は減少）	2,351	2,516
未払消費税等の増減額（△は減少）	39	△172
その他	△194	△325
小計	8,339	1,337
利息及び配当金の受取額	275	250
利息の支払額	△133	△142
法人税等の支払額	△745	△2,765
法人税等の還付額	18	18
特別退職金の支払額	△36	△6
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,717	△1,306
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△20	△19
固定資産の取得による支出	△4,065	△3,321
固定資産の売却による収入	149	663
その他	△130	△173
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,066	△2,851
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△501	6,729
長期借入金の返済による支出	△1,328	△1,325
リース債務の返済による支出	△376	△314
配当金の支払額	△1,217	△1,707
自己株式の取得による支出	△256	△1,212
自己株式の処分による収入	256	492
その他	△3	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,427	2,673
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	222	△1,484
現金及び現金同等物の期首残高	8,983	9,796
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,206	8,311

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額	中間連結損益計算書計上額（注）２
	加工食品事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	37,664	－	37,664	－	37,664	－	37,664
調理加工食品	43,939	－	43,939	－	43,939	－	43,939
食肉事業	－	38,623	38,623	－	38,623	－	38,623
その他	－	－	－	62	62	－	62
顧客との契約から生じる収益	81,604	38,623	120,228	62	120,290	－	120,290
外部顧客への売上高	81,604	38,623	120,228	62	120,290	－	120,290
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	413	413	△413	－
計	81,604	38,623	120,228	475	120,703	△413	120,290
セグメント利益	3,818	382	4,200	9	4,210	－	4,210

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおります。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額	中間連結損益計算書計上額（注）２
	加工食品事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	36,725	－	36,725	－	36,725	－	36,725
調理加工食品	44,865	－	44,865	－	44,865	－	44,865
食肉事業	－	40,143	40,143	－	40,143	－	40,143
その他	－	－	－	53	53	－	53
顧客との契約から生じる収益	81,590	40,143	121,734	53	121,788	－	121,788
外部顧客への売上高	81,590	40,143	121,734	53	121,788	－	121,788
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	431	431	△431	－
計	81,590	40,143	121,734	485	122,220	△431	121,788
セグメント利益又は損失（△）	1,736	△217	1,518	△28	1,490	－	1,490

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。